



— GLiS の探究(2学期) ひょうご起業ゼミの学びを实践へ —

「ひょうご起業ゼミ」(兵庫県主催)のプログラムに参加した1学期。社会課題を取り上げ、「情報収集の方法」「解決策の考案」「プレゼンテーションの仕方」をグループワークを通して学びました。

ガイアックスの新免先生にお世話になりました。

〈GLiS生の感想(抜粋)〉

★どうすればより利用者の困り事に寄り添えるのか、どうすれば自分たちも利用者もメリットや利益が得られるようにできるのか、最初のアイデアや困り事を深掘りしていくことで起業の難しさを知るとともに、良いアイデアが思いついた時は面白さも感じました。こういった探究を繰り返し、利用者のニーズにうまく寄り添った企業の素晴らしさも実感しました。

★一つの社会問題に対して、班のメンバーと様々な解決法を考えることができ、とても楽しかったです。また、自分の意見をしっかりと主張することができました。

★とても楽しかったです!短時間での企画は難しかったですが、チームで力を合わせて取り組むことができ、とてもやりがいがありました。また、私たちのプレゼンを真剣に聞いていただき、しっかりとしたアドバイスをいただけてとても勉強になりました。他のチームのプレゼンもとても面白く、充実した、密度の濃い時間でした!



そして2学期 地域の課題解決に向けた探究活動をスタートさせました。

GLiS 生の課題解決アイデアは、「第2回 HYOGO まちづくりアイデアコンテスト」に応募します。

「斬新さ」「独創性」「おもしろい」発想で地域課題解決を実現させましょう!

■「動」9月

各グループで取り上げる課題を探るところからスタート。さっそく「ひょうご起業ゼミ」での学びを实践しているGLiS生に驚きました。現状を知るために自分たちで地域のお店や身近な人にインタビューを実施していました。主体的に行動するGLiS生に「成長」を感じました。

■「動」10月・11月

GLiS生の行動力は続きました。より実効性のある解決策を考えるために、市町村や関連の施設などに電話やメールで問い合わせをしたり、実際に訪問したりと意欲的に行動していました。「ひょうご起業ゼミ」での学びがここでも活かされていました。「学び」を「実行」に移すことができるGLiS生はさすがです。



10月30日中間発表会

■「挑」12月

自分たちの課題解決のビジネスアイデアをプレゼンしました。

◆第1ステージ 企業訪問◆

12月12日から16日にかけて、伊丹市内と伊丹市近隣の企業を訪問し、企業の方の前でプレゼンしました。今年は、東り株式会社、小西酒造株式会社、松谷化学工業株式会社、音羽電機工業株式会社に訪問の機会をいただき、実施することができました。このような機会を作ってください本当にありがとうございます。GLiS生の考えたビジネスアイデアにたくさんのアドバイスをいただきました。そして企業の「社会貢献」について学ばせていただきました。

〈GLiS生の感想(抜粋)〉

(小西酒造)

★歴史のある企業であるため、昔ながらの伝統的な技術を使ってお酒を作られていて驚きました。そしてたくさん工夫を凝らしたお酒の作り方を学ぶことができました。また、ポスターの発表で自分たちの班の探究に対して、的確なアドバイスや知らなかった情報、自分たちとは異なる視点からの意見などを詳しく丁寧に教えていただき、探究に行き詰っていましたが少し自分たちの目的が見えてきたと思いました。今回の経験を活かし、探究活動を精いっぱい頑張ります。

(東り)

★リサイクルしている取り組みを知ることが出来てよかったです。東り株式会社を見学させていただいたことで、企業の取り組みや社会のしくみを知ることが出来ました。利益を目的とするだけでなく、環境への配慮を行っているところもとても素晴らしいと思いました。今回学んだことは、今の世の中は環境問題と向き合いにくい仕組みであることです。今のままでは利益を得ることに必死でたくさんの無駄が出てしまうので、環境への取り組みをして利益を得るようなシステムを作る必要があると考えました。最後にはポスターのアドバイスもいただき、充実した一日にすることができました。本当にありがとうございました!



(松谷化学工業)

★私たちとは違う視点から様々なアドバイスを的確にもらってとても参考になりました。貴重な時間をありがとうございました。とても参考になるお話ばかりで、私にとってとても良い時間になりました。松谷化学工業の名前は知らなかったですが、松谷化学工業のてんぷんが使用されている会社の商品は本当に私の知っているような食べ物ばかりであったことが衝撃的でした。また、てんぷんひとつにもいろいろな使い道や販売方法があると知り、私たちのビジネスプランも、一つのことにもっとたくさんの可能性があるのだと思いました。いただいたアドバイスをもとに、もっと私たちのビジネスプランを良いものにしていき、良い結果を出せるよう頑張ります!!



(音羽電機工業)

★音羽電機工業がどのような事業を行っているかについて丁寧に説明してくださり、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。避雷針ぐらいしか知らなかったけれど、様々な場面で目的に応じた機器が使われているのだと分かりました。雷に近い電流を流す装置は思っていたよりも迫力があり、実際の雷のエネルギーの大きさを感じられました。雷はふだん音がしても気にしていなかったけれど、これからは意識してみようと思いました。また、私たちが発表させていただいたプロジェクトに対しても、とても貴重な意見をくださったこと、大変感謝しています。いただいた意見をもとに、これからも精いっぱい努力します。この度は誠にありがとうございました。



◆ 第2ステージ 京都大学院生にプレゼン ◆

12月19日、京都大学院博士課程4名の方に来ていただき、ビジネスアイデアのポスター発表を行いました。

GLiS生のどのグループも、大学院生さんとの質疑応答が活発に行われていて、いつまでも止まないくらいでした。自分たちのアイデアをブラッシュアップさせようとするGLiS生たちの強い意欲を感じました。この時間にもまたGLiS生の「成長」を実感しました。京都大学院の方も、GLiS生の「ポスターとプレゼン」の完成度の高さに驚かされていました。そして、みなさんとの質疑応答が充実していて楽しかった、と感想をいただきました。

(GLiS生の感想)

★今までとは違った視点から気づくことがたくさんありました。私の班は、経済学の研究をされている大学院生に見ていただきました。サービス価値の設定やその他経済の視点からアイデアを考えることができました。大学院生の方からだけでなく、他の班からのアドバイス、質問に答えているうちにアイデアが広がっていったのも楽しかったです。

